

2018年New



埼玉県  
青島デンタルオフィス  
青島 徹見 先生

# ハーモナイズにおける 各エイジングステージの シェードエリアに合わせた ダイレクトレストレーション

私の日々の臨床において、最も長期にわたって臨床応用し、信頼しているコンポジットレジンカーのプレミスである。

プレミスの操作性及び賦形性は、他のコンポジットレジンとは一線を画している。操作性はもちろん、高い強度や耐摩耗性などプレミスの優れた物性を継承し、満を持して発売されたのがハーモナイズである。

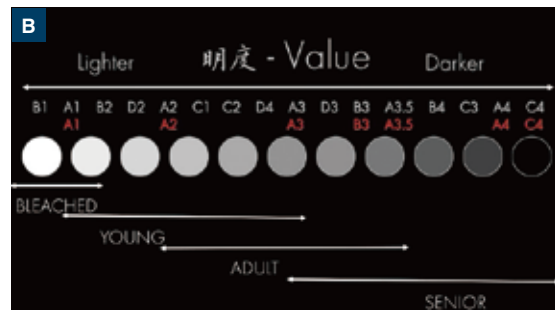
臼歯のダイレクトレストレーションにおけるシェードセクションは、デンチン層:High Chroma、エナメル層:Medium Translucent、最表層隆線頂:High Valueを基本とし、プレミスではデンチン層はボディのA4、エナメル層はトランスルーセントのクリア、最表層隆線頂はプレミス フロアブルのXL1を選択していた。ハーモナイズにおいてはシェードコンセプトがプレミスとは異なるため、

シェードセクションも若干異なる。特にトランスルーセントはプレミスよりも透明性および粘調度が増し、「インサイザル トランスルーセント」の名が示す通り、前歯部切縁部の使用に適した操作性となっている。そのため透明性、賦形性ともに臼歯部においては、デンチン層はデンチン、エナメル層はエナメルの使用が適している。

プレミスのクリアは色相要素があまりないため、どのエイジングステージ(図A)においても馴染みやすく、丁度良い透明性であった。ハーモナイズのエナメルは、VITAシェード全16色がラインナップにあるよう色相要素があり、各エイジングステージでのシェードエリア(図B)にきめ細かく合わせることができる。また、ハーモナイズの天然歯に近い光の拡散と反射、カメレオン効果は、充填部位に境目のない自然な一体感をもたらす。



萌出したばかりの歯牙はエナメル質、象牙質ともに無機成分に乏しく、エナメル質の結晶間には多くの空間が存在し、不透明で乳白色である。そこから徐々に唾液や食物からミネラルを吸収し、石灰化が進むことで無機成分に富み、透明感が増す。透明感が増すことで色が濃くなり彩度が増していく。



エイジングすることで歯牙は透明感と共に彩度を増すが、人間の色調判断は明度がベースとなるため、各エイジングステージのVITAシェード明度順におけるシェードエリアを図に示す。



術前。14.ハイブリッドインレーの色調と冷痛を主訴に来院。ミラー像



オブチダムを装着後、ハイブリッドインレーを除去し形成の完了。



この歯牙のエイジングステージはAdultであり、エナメル層はエナメルA3を選択。



隣接面部辺縁隆線を充填後、内部のデンチン層はデンチンA3.5を選択。



デンチン充填後、隣接面部と同じエナメルA3を充填。優れた賦形性により、主溝をしっかりと入れることができる。立体感を出すため、エナメルA3の上にプレミス フロアブルA2で隆線を築盛する。



プレミス フロアブルXL1を隆線のトップに築盛することで、さらに立体感が増す。



術後。ハーモナイズの天然歯に近い光の拡散と反射、カメレオン効果により、境目のない一体感がある結果が得られた。ミラー像



ハーモナイズの蛍光性。